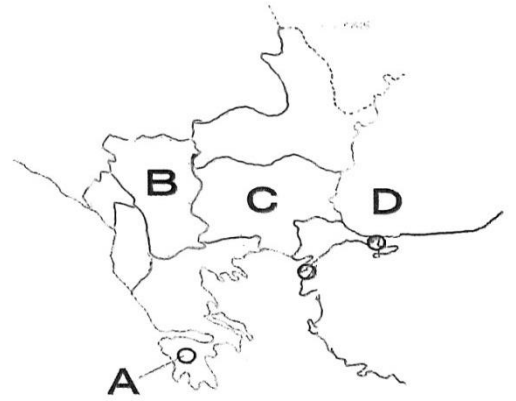


2018年 詳説世界史 復習テスト  
 ～ 第05講② 西洋史 § 11・東洋史 § 25 ～

【ロシア南下政策（地図問題中心）】

- ① Aの独立が認められた条約名を書け。
- ② Bの独立が認められた条約名を書け。
- ③ Cの露保護国を廃止した会議の提唱者を書け。
- ④ Dの海が中立化されるきっかけとなった戦争名を書け。
- ⑤ ①～④の答えとなる、また関わる事件をそれぞれ年代順に並べ替えよ。  
 あ. ①の条約      い. ②の条約      う. ③の会議      え. ④の戦争
- ⑥ ④の敗戦で産業革命の必要性を痛感した皇帝が発布した法令名を書け。
- ⑦ 文章中の破線部の誤り2か所を正しく直せ。（完答）



ボスニア＝ヘルツェゴヴィナの反乱をきっかけに、オスマン帝国領内のゲル  
 に宣戦布告した。その後結ばれた条約に、オーストリアとフランスが反発した結果、ロシアの南下は阻止された。

- ⑧ 1870年代に、農民への啓蒙活動によって、平等な社会を実現しようとした運動を何と呼ぶか書け。
- ⑨ ⑧の運動の挫折から生まれた革命思想の犠牲になった皇帝を下の4人から選びなさい。  
 あ：アレクサンドル2世      い：アレクサンドル3世      う：ニコライ1世      え：ニコライ2世

【列強のアジア侵略（次の問いに答えよ）】

★空欄に当てはまる用語を書きなさい。

トルコは1699年の( ⑩ )条約でハンガリー大半を失った後、180末から露帝による南下政策で黒海及びその北岸を失った。こうした一連のロシアによる南下政策は、歴史上“( ⑪ )”と呼ばれている。190になると、エジプト総督( ⑫ )が自立の動きを始めた。そうした中、第1次エジプト＝トルコ戦争で敗北したトルコは( ⑬ [改革名] )による、表面的な西欧近代化政策を実施するが、失敗に終わる。その後、1876年には( ⑭ )が発布されるが、これも( ⑮ )戦争を理由に延期となる。しかし、( ⑯ )年の青年トルコ革命で立憲君主制は成立した。

★次の3人のオスマン皇帝の順番を並べ替え( ⑰ )、その業績の組み合わせが誤っている皇帝を1人選べ( ⑱ )。

- A：アブデュルハミト2世      B：アブデュルメジト1世      C：マフムト2世  
 青年トルコ革命      イェニチェリ廃止      ギリシア独立戦争

★エジプトについての文について、誤っている用語を2箇所選び正しく直しなさい。（各点 ⑲⑳）

19世紀初めに就任したエジプト総督は、フランスからの技術援助で西洋近代化に成功、まもなくアラビア半島のワッハーブ派を制圧、ギリシア独立戦争でトルコを支援したことでスーダンを要求した。結局、ロンドン会議でエジプト・スーダンの総督世襲権を得て、事実上独立を達成し、マフディーの乱後にエジプトはイギリスの保護国となった。

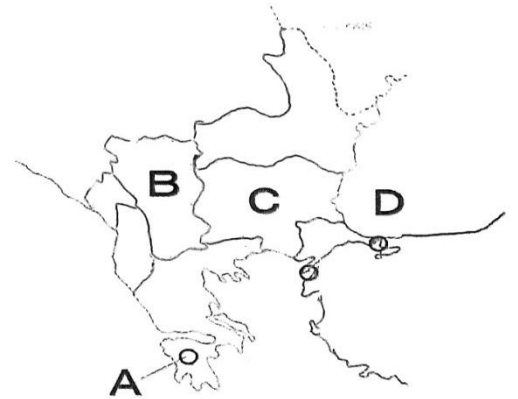
1		2		3		4	
5		6		7		8	
9		10		11		12	
13		14		15		16	
17		18		19		20	

# 2018年 詳説世界史 復習テスト

～ 第05講② 西洋史 § 11・東洋史 § 25 ～

## 【ロシア南下政策（地図問題中心）】

- ① Aの独立が認められた条約名を書け。
- ② Bの独立が認められた条約名を書け。
- ③ Cの露保護国を廃止した会議の提唱者を書け。
- ④ Dの海が中立化されるきっかけとなった戦争名を書け。
- ⑤ ①～④の答えとなる、また関わる事件をそれぞれ年代順に並べ替えよ。  
あ. ①の条約    い. ②の条約    う. ③の会議    え. ④の戦争
- ⑥ ④の敗戦で産業革命の必要性を痛感した皇帝が発布した法令名を書け。
- ⑦ 文章中の破線部の誤り2か所を正しく直せ。（完答）



ボスニア＝ヘルツェゴヴィナの反乱をきっかけに、オスマン帝国領内のゲルマン人保護を口実に、1877年、ロシアがトルコに宣戦布告した。その後結ばれた条約に、オーストリアとフランスが反発した結果、ロシアの南下は阻止された。

- ⑧ 1870年代に、農民への啓蒙活動によって、平等な社会を実現しようとした運動を何と呼ぶか書け。
- ⑨ ⑧の運動の挫折から生まれた革命思想の犠牲になった皇帝を下の4人から選びなさい。  
あ：アレクサンドル2世    い：アレクサンドル3世    う：ニコライ1世    え：ニコライ2世

## 【列強のアジア侵略（次の問いに答えよ）】

★空欄に当てはまる用語を書きなさい。

トルコは1699年の( ⑩ )条約でハンガリー大半を失った後、180末から露帝による南下政策で黒海及びその北岸を失った。こうした一連のロシアによる南下政策は、歴史上“( ⑪ )”と呼ばれている。190になると、エジプト総督( ⑫ )が自立の動きを始めた。そうした中、第1次エジプト＝トルコ戦争で敗北したトルコは( ⑬ [改革名] )による、表面的な西欧近代化政策を実施するが、失敗に終わる。その後、1876年には( ⑭ )が発布されるが、これも( ⑮ )戦争を理由に延期となる。しかし、( ⑯ )年の青年トルコ革命で立憲君主制は成立した。

★次の3人のオスマン皇帝の順番を並べ替え( ⑰ )、その業績の組み合わせが誤っている皇帝を1人選べ( ⑱ )。

- A：アブデュルハミト2世    B：アブデュルメジト1世    C：マフムト2世  
 青年トルコ革命    イェニチェリ廃止    ギリシア独立戦争

★エジプトについての文について、誤っている用語を2箇所選び正しく直しなさい。（各点 ⑲⑳）

19世紀初めに就任したエジプト総督は、フランスからの技術援助で西洋近代化に成功、まもなくアラビア半島のワッハーブ派を制圧、ギリシア独立戦争でトルコを支援したことでスーダンを要求した。結局、ロンドン会議でエジプト・スーダンの総督世襲権を得て、事実上独立を達成し、マフディーの乱後にエジプトはイギリスの保護国となった。

1	アドリアノーブル条約	2	サン＝ステファノ条約	3	ビスマルク	4	クリミア戦争
5	あ→え→い→う	6	農奴解放令	7	ゲルマン→スラヴ フランス→イギリス	8	ナロードニキ運動
9	あ	10	カルロヴィッツ	11	東方問題	12	ムハンマド＝アリ
13	タンジマート	14	ミドハト憲法	15	露土	16	1908
17	C→B→A	18	B	19	スーダン →シリア	20	マフディー →ウラービー＝パシャ